

# 希望をもたらず人間に

ブラックホールの撮影に成功したというビッグニュースが飛び込んできた。日本は、撮影に参加した世界6カ所にある電波望遠鏡のうち、南米チリのアルマ望遠鏡の共同運用チームの一員であり、データ処理の方法の開発や画像化でも貢献しているという。



ブラックホールの解明は、アインシュタインの一般相対性理論以来、科学者の心を捉えて離さない。日

齋藤 有莉さん

(武生高2年)

本の小柴教授がノーベル賞を受賞したことで知られるニュートリノによる観測も、またその一つである。

私はこうした大きな成果の記事に触れるたび、その成果を生み出した機器の開発や設計製造の技術に思いを寄せずにはられない。記事には書かれていない多くの人々が、私たちの想像をはるかに超える努力を続けてきたに違いない。

私は今、先人の研究によって確立した理論を教わっているだけであるが、いつの日か今回の撮影のような、人々に希望をもたらず成果に関われるような人間になりたい。

4月11日付(26面)

**史上初ブラックホール撮影**

**世界の観測技術結集**

データ画像化 日本人も貢献

**Q&A** ブラックホール

地球サイズ望遠鏡で撮影